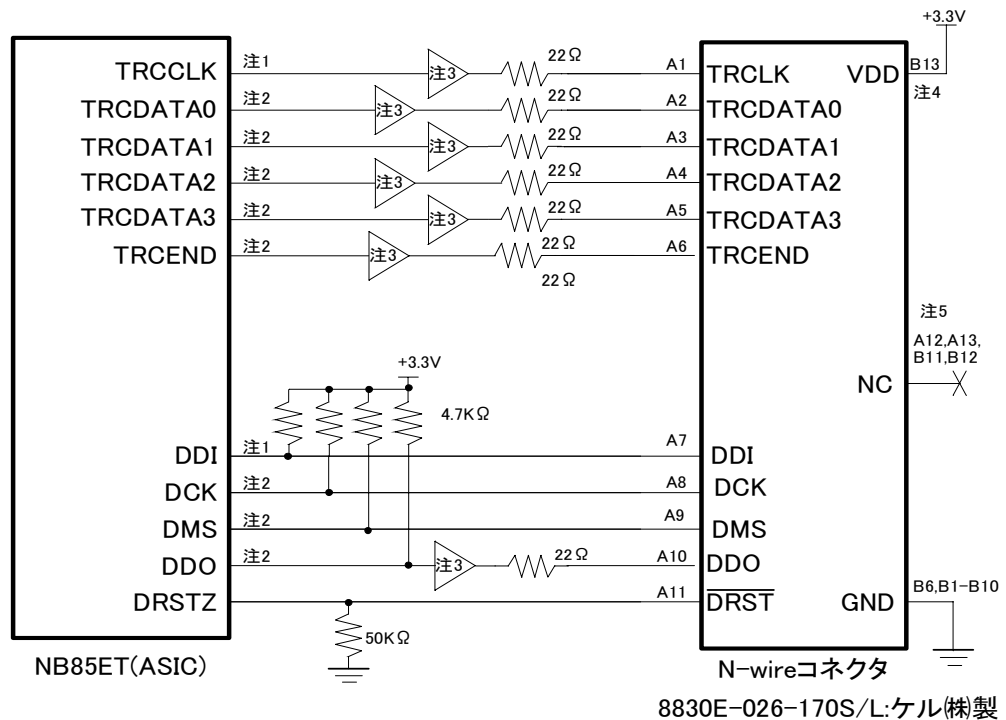


2.2.1 JTAG ケーブルの接続

本製品付属の JTAG ケーブルでターゲットボード上の JTAG コネクタと PARTNER-Jet の JTAG コネクタを接続します。

JTAG 機能を使ったデバッグを行う場合はターゲットボード上に、JTAG ケーブルを接続するための回路やコネクタが必要になります。次の図を参考にしてターゲット上に回路を用意しておいてください。また、必ずご使用の CPU のユーザーズマニュアルも合わせてご確認ください。

(1) ターゲット上に用意する JTAG コネクタ



注 1. クロックパターン長はできるだけ短くして、GND で囲んでシールドしてください（パターン長は 100mm を超えないようにしてください）。

注 2. パターン長はできるだけ短くしてください（パターン長は 100mm を超えないようにしてください）。

注 3. SN74LVC541A(TI 製), TC74LCX541F(東芝製)などの 3V バッファ

注 4. 接続コネクタの B13 (VDD ピン) は、ターゲットの電源に直接接続してください。

注 5. NC ピンは必ず未接続にしてください。

注 6. ASIC に DBINT 端子(オプション)がある場合で未使用のときは Low レベルを入力してください。

(2) JTAG コネクタピン配列

使用コネクタ型番 8830E-026-170S(ストレート) (ケル株式会社製)

使用コネクタ型番 8830E-026-170L(ライトアングル) (ケル株式会社製)

表 2-2 JTAG コネクタピン配列

PIN 番号	信号名	PIN 番号	信号名
A1	TRCCLK	B1	GND
A2	TRCDATA0	B2	GND
A3	TRCDATA1	B3	GND
A4	TRCDATA2	B4	GND
A5	TRCDATA3	B5	GND
A6	TRCEND	B6	GND

A7	DDI	B7	GND
A8	DCK	B8	GND
A9	DMS	B9	GND
A10	DD0	B10	GND
A11	DRSTZ	B11	NC
A12	NC	B12	NC
A13	NC	B13	VDD(電源 3.3V)